



社会福祉法人

熊本いのちの電話

KUMAMOTO INOCHINODENWA

通信 58号[事業報告] 平成29年7月



突き動かされる心・揺り起こされる魂

27期生相談員

新しい職場で迎えた昼休み。何気なく広げた新聞の紙面に「熊本いのちの電話」相談員の募集記事がありました。その5分後には事務局に申し込みの電話をしている自分がいました。何かに「突き動かされる」如く行動した自分に驚き、生まれて初めて見た「いのちの電話」という言葉に、眠っていた魂を「揺り起こされる」感覚がありました。何が自分に起きたのか？その時の答えは、あれから7年という時間が過ぎた今でも出ていません。

「熊本いのちの電話」は「24時間365日眠らぬダイヤル」を掲げ、開局から今日まで30余年途切れることなく相談の電話を繋いできました。いのちの電話を繋いできた相談員はこれまで600余名にのぼりますが、その活動は強力な多くの支援の力にも支えられてきました。

現在、100余名の相談員のほとんどが熊本地震の被災者という境遇を抱えながらも、日々相談活動に取り組んでいます。

何が相談員をここまで駆り立て頑張らせるのか？明確な答えを持っている相談員はほとんどいないと思われそうですが、熊本地震後はまさに「使命」という言葉で表されるほどの「相談員魂」の発揮がありました。

私たち相談員には、「華やかな場面」も「嵐のような賞賛」も「表立った感謝」も「輝く名誉」も与えら

れることはありません。もとより、それを求めてここに集った相談員は一人もいませんが…。与えられるとすれば、“常に！誠実に！真摯に！愚直に！相談者に寄り添う！”自分に対する、自分自身による「労いの言葉・想い」のみかもしれません。自分に恥じない相談員活動のみが大きな価値を持っており、そこそが相談員の唯一無二の財産になりうることを私は信じて疑いません。

電話を取り始めて6年が過ぎました。未だ電話のベルが鳴ると、受話器の向こうに苦しみや悲しみの表情をした「相談者」の存在を意識し緊張が走り、電話を終えた後は例外なく疲れを覚えますが、それは爽やかな疲労感と言えるものです。

最近、相談員の高齢化や応募者の減少による相談員数の確保が問題になっていますが、私自身はそのことを心配していません。なぜならば、「突き動かされる心・揺り起こされる魂」は、人間が本質的に持っている心根であり、多くの人が持っているものだと思っているからです。必ずや、第2、第3の私が現れることを期待して止みません。

「突き動かされる心・揺り起こされる魂」。何が自分に起き、いまここで電話を取っているのか？その答えはまだ出ていません。その答えを探す旅をもうしばらく続けたいと思っています。

通信58号 目次

巻頭言	P1
2016年電話相談状況	P2
熊本地震いのちの電話の取組みと中間結果	P4
2016年度事業報告	P6
2016年度決算報告	P8

2017年度事業計画	P9
2016年度感謝報告	P10
認定式、認定者の声	P12
説明会、開講式、受講者の声	P14
役員名簿、事務局日誌、編集後記	巻末

平成28年(2016年)電話相談の状況

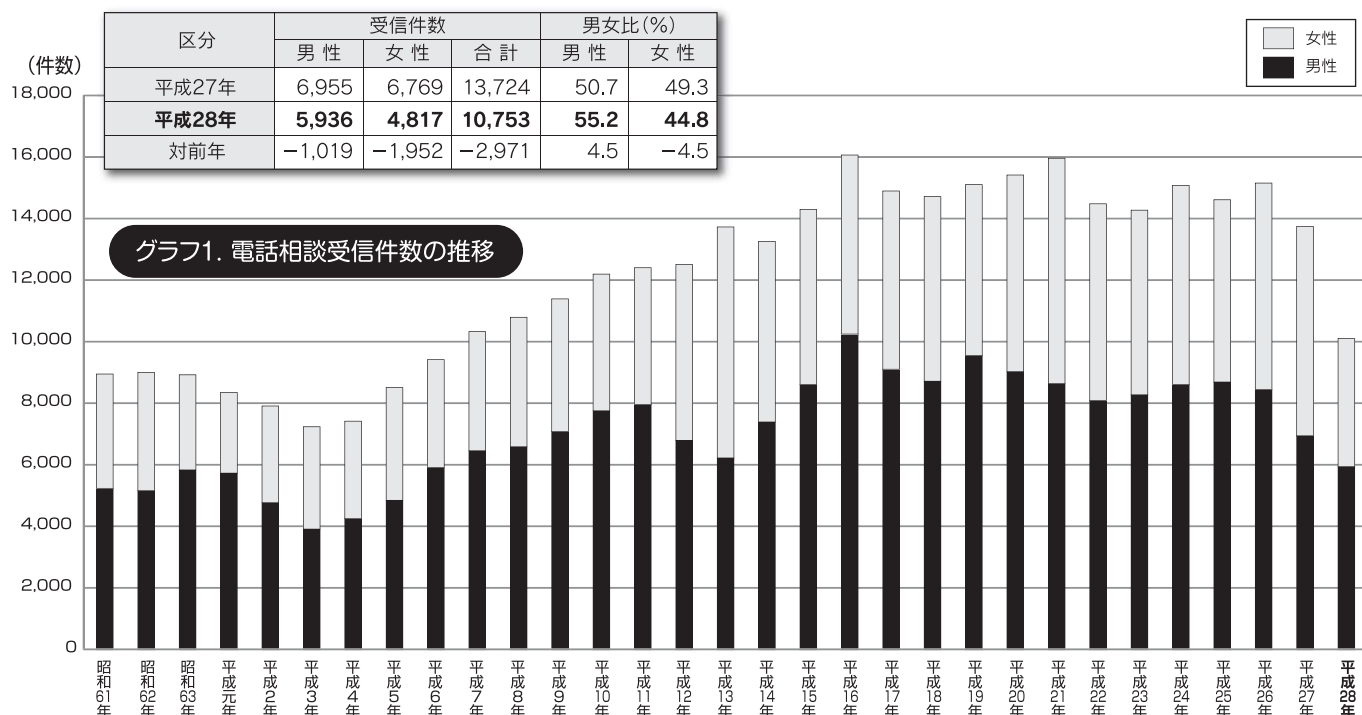
(熊本いのちの電話で2016年1月1日～12月31日で受信した集計結果です)

●平成28年の電話相談件数(前年対比)

○平成28年の年間総受信件数は10,753件で前年より2,971件(22%)減少しました。これは発信件数が減少したのではなく、熊本地震のため相談員の態勢が不十分なため、受信できなかったことが大きな要因と考えられます。

○受信件数の男女比は男性が55.2%(前年比+4.5%)、女性が44.8%(前年比-4.5%)で男性の割合が大きく増加しました。その理由については不明。地震との関係が、一時的なことか、今後見守る必要があります。

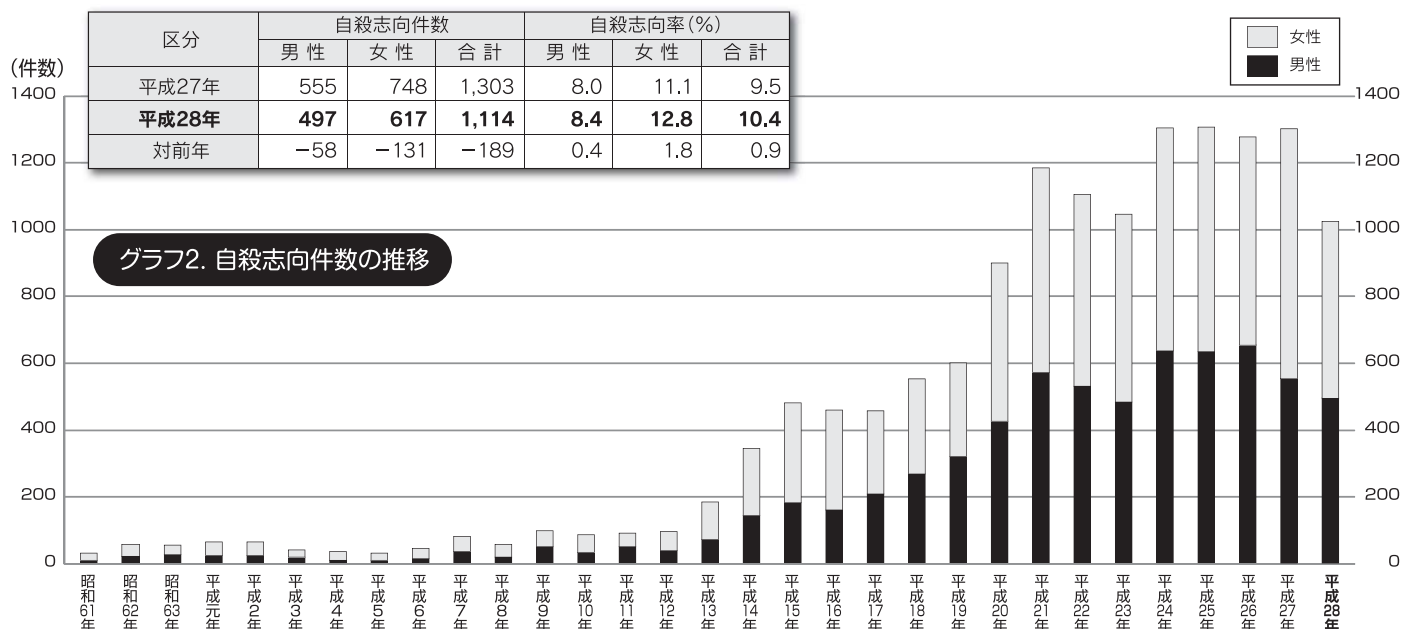
表1.対前年受信状況



●平成28年の自殺志向件数(前年対比)

自殺志向の件数は受信件数の減少に伴い減少しているが、自殺志向率は男女ともに増加している。地震の影響を含め相談内容が深刻化している表れと思われる。

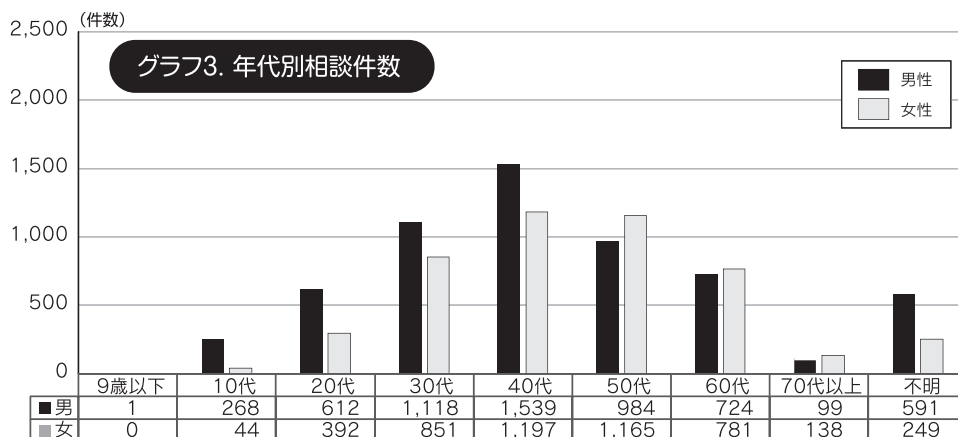
表2.対前年自殺志向状況



●年代別相談件数

年代別では40代が全体の25.4%を占めている。

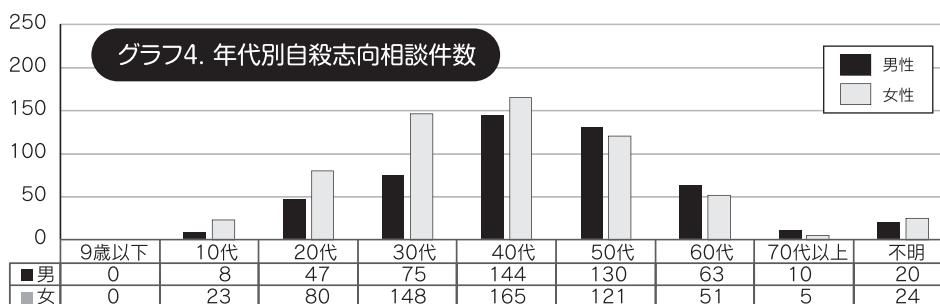
男性は40代、50代、女性は40代、50代からの相談件数が多い。



●年代別自殺志向件数

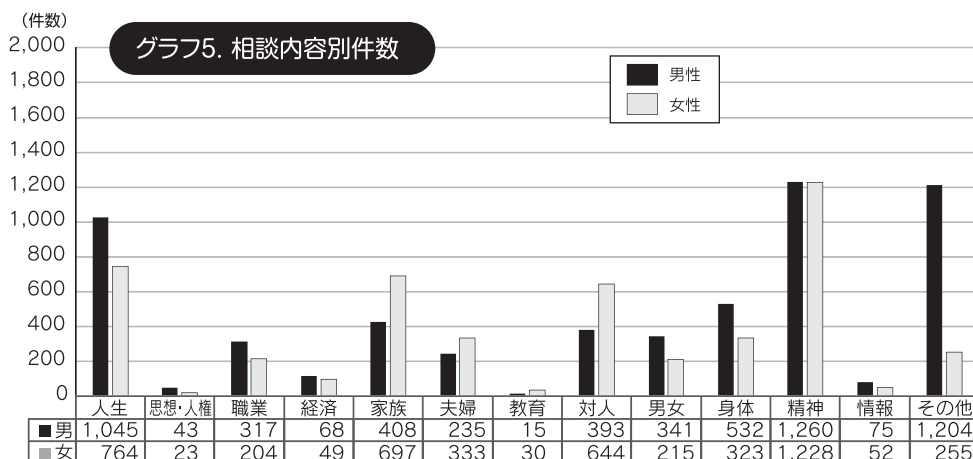
年代別の自殺志向件数は40代が27.7%で一番多く、次いで50代、30代となっている。

30代から50代で全体の70%を占めており、受信件数の分布と相似している。

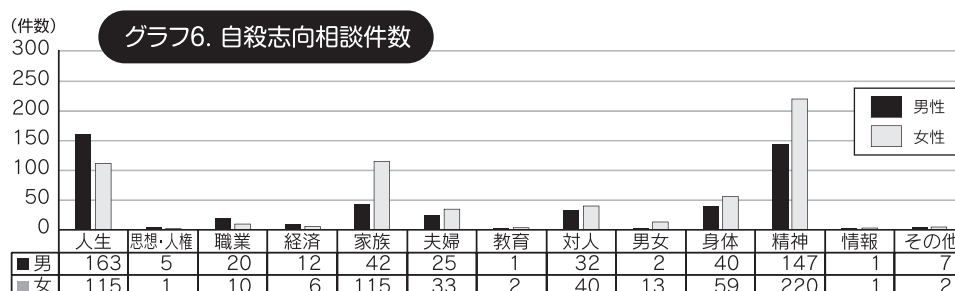


●内容別分類と自殺志向件数

電話相談の内容別件数を見ると男性は精神、人生についての件数が多く、女性は精神、人生、家族、対人についての件数多く、昨年と同じ傾向である。



自殺志向の内容別件数では男女ともに精神、人生、家族に関する件数が多く、昨年と同じ傾向である。



熊本地震いのちの電話の 取組みと中間結果

～フリーダイヤルを利用した協働事業終了にあたり～

1. 概要

平成28年4月14日、16日に起きた熊本地震は「熊本のいのちの電話」にも被害を及ぼした。建物内は書庫や機材など転倒、散乱し、室内の壁紙に無数の亀裂が走り、相談員に幸い人的被害はなかったがそれぞれの家屋や家財の被害は少なくなかった。そのため、相談室の建物の安全診断、相談員の安否確認の実施、かけ手のために相談電話の中断を回避し、増加する相談と相談体制の弱体化への対応等、矢継ぎ早に問題解決に取り組んできた。相談員はこんな時だからこそ頑張ろうと励ましあい、九州内の各センターをはじめ全国の相談員の仲間の力強い激励に後押しされ、早くも1年2カ月が過ぎようとしている。この間の取組みについて振り返ってみる。

2. 経緯

- 4月 14日、16日 熊本地震発生。
18日 相談電話受信中止決定し同時に安否確認。
20日 建物安全診断結果相談室へ立ち入り可。
22日～5月24日 熊本着の相談電話を北九州、福岡、佐賀、鹿児島に順次転送。
5月 10日 インターネット・メディカル・コープ(IMC)から支援の連絡。
17日 フリーダイヤル(FD)による企画書説明。
19日 IMCの都合により支援は白紙に。チャイルド・ファンド・ジャパン(CFJ)を紹介。
20日 CFJと会談し、支援内定。
11日～6月30日 NTTコム NTT熊本支店及び九州各センター、日本連盟とFDについて電話で打合せ。
6月 13日 熊本でCFJと調印式。県庁にて報道発表。FD期間 7月1日～12月末。
14日～ 避難所、仮設団地へFDのポスタ配布。
7月 1日 熊本地震いのちの電話(FD)開始。受信は福岡、北九州、佐賀、長崎、大分、鹿児島、沖縄。
2日 FDのトラヒックデータ(TD)を見て、話中時転送機能が働いていない異常事態を発見。FDをサポートするカスタマーコントロールセンターでも原因不明。
7日 鹿児島に着信不可とすると、他で異常現象。
11日 佐賀、長崎、鹿児島、沖縄を着信先から外す。北九州、福岡、大分の3センターでは順調に運用。
12日 FD着信先に熊本センターも参加すれど異常。
8月 10日 FDの分配方法を2段階に変更。
9月 14日 熊本の光回線を試行的にアナログ回線に変更。正常化を確認。長崎、鹿児島、沖縄も。
- 9月 15日～ 長崎、佐賀、鹿児島、沖縄も順次アナログ回線に変更。
10月 1日 三重、愛知、岐阜、島根を入れて受信先が11センターに。ナビダイヤルも同様の異常状態を発見。
10日 CFJに対し追加支援と期間延長の要請。
26日 NTTCOMから異常事態について説明。光回線では改善できない、アナログは可と明言。
11月 19日 CFJは12月末までを3月末までに延長を了解。
1月 23日 協働事業を平成29年7月末まで再延長了解。
2月 22日 関係者の合同会議を熊本で開催。
23日 かけ手の実情を肌で知るために仮設団地を視察。
3月 3日 FDで非通知電話を規制開始。
5月 26日 8月以降、連盟に引継ぎ連盟が主導的に運営することに決定。

今感じている
不安な気持ち、
つらいこと。
話してみませんか。

熊本地震 いのちの電話
0120-87-4343
(はなそうしみじみ)

24時間受付・無料です。

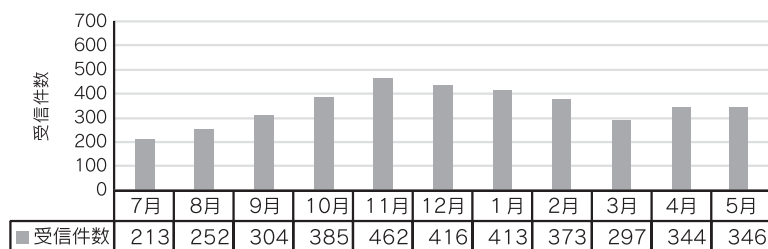
【協力】 北九州、福岡、佐賀、長崎、大分、鹿児島、沖縄、愛知、岐阜、三重、島根 いのちの電話

【協賛】 特定非営利活動法人 チャイルド・ファンド・ジャパン 一般社団法人、日本いのちの電話連盟 熊本県社会福祉協議会

【主催】 社会福祉法人 熊本のいのちの電話 ☎090-354-4343

3. 受信状況

グラフ1. 熊本地震FD受信件数



地震から4カ月、まだ避難所暮らしが多かった平成28年8月1カ月間に熊本地震フリーダイヤルにかかってきた相談の内訳を分類したものがグラフ2である。

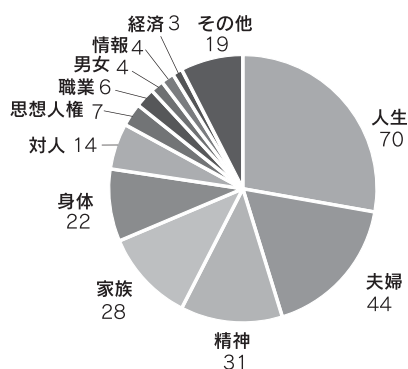
地震から12カ月過ぎ、仮設団地にほとんどが引っ越した平成29年4月1カ月間の相談電話がグラフ3である。

二つを比較してみるといくつかの違いがわかる。グラフ2に比べグラフ3で減少しているものは夫婦、身体上の問題である。人生の割合は変わらないが、内訳ではグラフ4のように変化している。

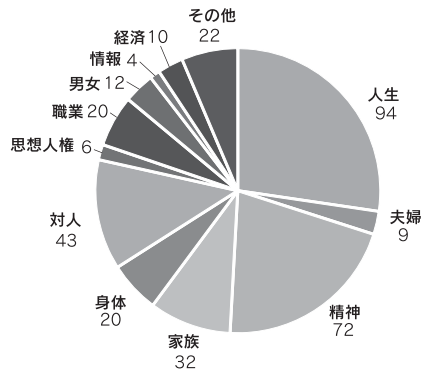
増加しているものは、精神面、対人関係、職場に関するものである。精神面ではうつ患者からの電話の増加、対人関係ではグラフ5の通り不和・トラブルの増加、孤立、ハラスメントが増加している。また8月には職業につけない悩みが多かったが4月には仕事をはじめたが馴染めない悩みが増大している。

以上のような変化が生じており今後とも注目しておく必要がある。

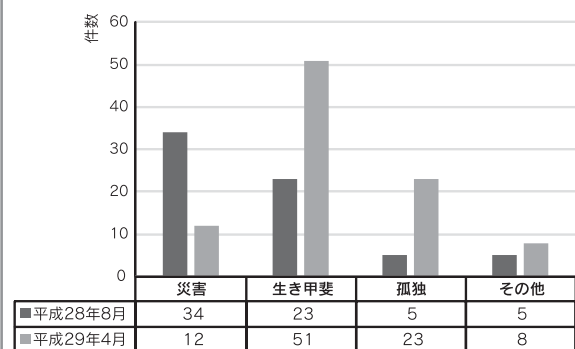
グラフ2. 平成28年8月相談内容内訳(252件)



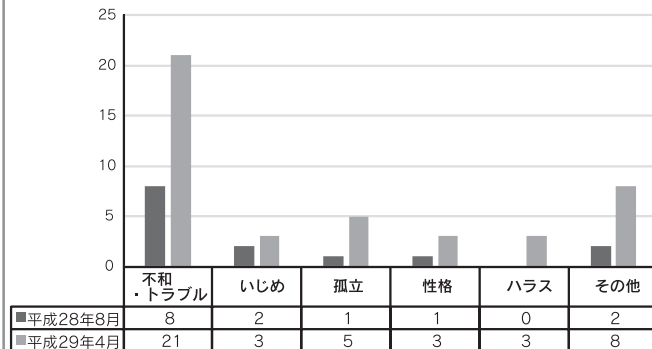
グラフ3. 平成29年4月相談内容内訳(344件)



グラフ4. 人生の内訳対比



グラフ5. 対人の内訳対比



4. 今後の取組み

チャイルド・ファンド・ジャパンとは7月末をもって協働事業を終了するため、今後の取組みをどうすべきか検討した結果、8月以降は日本ののちの電話連盟が引き継ぐことになり、今後は熊本地震フリーダイヤルの受信協力センターの拡大、利用時間帯の設定、利用者への周知、頻回者や本件からの苦情対応、実績報告等など連盟で主導的責任を持つことになる。

社会福祉法人 熊本いのちの電話

平成28年度(2016年度) 事業報告

1. 電話相談活動

(1) 熊本いのちの電話

総受信件数 10,753件 延べ1,784名担当

* 詳細は2ページ「電話相談の状況」を参照

(2) フリーダイヤル自殺予防いのちの電話

毎月10日 午前8時～24時間 熊本で延べ126名担当

(3) フリーダイヤル熊本地震いのちの電話

7月1日 「熊本地震いのちの電話」フリーダイヤル受信開始
～平成29年3月 受信件数 3,115件

※平成29年7月末をもって本事業を終了し、8月から日本いのちの電話連盟主催で「熊本地震被災者用いのちの電話」が引き継ぐ。



熊本地震いのちの電話FD合同会議

2. 研修活動

(1) 第33期 電話相談員養成 基礎講座

場所 熊本YMCA中央センター

①開講式 平成28年5月10日

②前期（公開講座） 5月10日～10月 4日 17回 26名

③後期（養成講座） 10月 4日～ 3月28日 24回 16名

④終了式 平成29年2月28日



全体研修会

(2) 第32期生2年目研修(スーパービジョン)

期間 平成28年4月～平成29年3月

人数 15名（男性5名・女性10名）

(3) 継続研修

全相談員対象 8研修班構成、月1回実施

(4) 全体研修

①平成28年6月19日 熊本県総合福祉センター 88名出席

テーマ：熊本地震の「災害ダイヤル」を受けるために

講師：福山清蔵氏（東京いのちの電話研修委員）

②平成28年11月20日 熊本県婦人会館

テーマ：「震災ダイヤルの対応を考える」

講師：後藤研修委員長他研修委員



仮設住宅訪問

(5) 第34回いのちの電話相談員全国研修会へ参加

平成28年9月15日～9月17日 「なら大会」

テーマ：「寄り添い人の華輪を創る」

熊本から4名参加

(6) 研修指導検討会(研修委員・研修リーダー合同)

1回 平成28年10月30日 会館会議室 10名

2回 平成29年 2月19日 阿蘇熊本空港エミナース 9名

講師：福山清蔵氏



研修指導検討会

3. 公開事業・啓発活動

- (1) 自殺予防公開講演会
厚生労働省補助事業 くまもと県民交流館パレア
平成29年2月26日 200名
講師：菊池省三氏（教育実践研究家）
テーマ：「言葉の力で子どもを育てる」
- (2) 相談員になるための説明会実施
第34期電話相談員募集拡大
平成29年2月10日～12日 全29名参加
- (3) チャリティ事業
(熊本地震で会場が確保できず中止)
- (4) ボランティア週間バザー
(熊本地震の影響により開催無し)
- (5) 部外広報誌「熊本のいのちの電話・通信」を発行
4月(54号)、7月(55号)、1月(56号) 各1,000部発行
- (6) 内部広報誌「りんりん」を発行
第41号、第42号、第43号

4. 運営活動

- (1) 開局31年記念会＆第31期電話相談員認定式
平成28年6月19日 熊本県総合福祉センター
 - ①表彰
 - 貢献賞表彰 25名
 - 担当時間 500時間達成 7名
 - 1,000時間達成 5名
 - 1,500時間達成 1名
 - 10年活動者 2名
 - ②認定 第31期生認定者 5名
- (2) 相談員の更新認定
平成29年4月27日 更新判定会開催
更新認定者 101名

5. 各種会議

- (1) 理事・評議員会
 - 平成28年 5月25日 平成27年度事業報告・決算報告審議、所轄変更に伴う定款変更
 - 平成28年12月17日 評議員選任・解任委員会委員の選出、新評議員候補者の人選
 - 平成29年 1月27日 第1回評議員選任・解任委員会、評議員の選任
 - 平成29年 3月30日 平成29年度事業計画・予算計画
- (2) 日本いのちの電話連盟 定期総会
平成28年5月27日～28日 岡山
 - ① 定期社員総会
 - ② 連盟事務局長会議
- (3) 熊本市自殺対策連絡協議会
平成28年11月7日
- (4) いのちの電話自死遺族支援合同研修会へ参加
平成28年12月22日 東京
講師：若林一美氏 立教女学院短期大学学長
講演：「悲しみの淵から」
熊本から1名参加
- (5) 九州地区いのちの電話ワークショップ 「佐賀大会」
平成28年7月16日～17日
テーマ：「むすぶ つなぐ いのちの輪」
熊本から2名参加



熊本地震後の屋根の補修工事



自殺予防公開講演会受付



新刊紹介



理事会の様子



役員会の様子

表1 資金収支計算書(要約)

(自平成28年4月1日 至平成29年3月31日)

(単位:円)

勘定科目	予算	決算	差異
事業活動による収支			
事業活動収入	8,184,500	11,964,095	△ 3,779,595
事業活動支出	7,592,521	9,146,781	△ 1,554,260
事業活動資金収支差額	591,979	2,817,314	△ 2,225,335
設備整備等による収支			
設備整備等収入	0	2,712,800	△ 2,712,800
設備施設整備等支出	0	2,973,996	△ 2,973,996
設備整備等資金収支差額	0	△ 261,196	261,196
その他の活動による収支			
その他の活動収入	0	0	0
その他の活動支出	0	396,000	△ 396,000
その他の活動資金収支差額	0	△ 396,000	396,000
予備費支出	0	0	0
当期資金収支差額合計	591,979	2,160,118	△ 1,568,139
前期末支払資金残高	13,013,921	13,013,921	0
当期末支払資金残高	13,605,900	15,174,039	△ 1,568,139

表2 事業活動計算書(決算および予算書)

28年度決算 (自)平成28年4月1日 (至)平成29年3月31日
29年度予算 (自)平成29年4月1日 (至)平成30年3月31日

(単位:円)

勘定科目	28年度決算	29年度予算
サービス活動増減の部		
維持会費収益	3,069,452	2,500,000
賛助会費収益	3,597,144	1,500,000
講習受講料収益	874,000	980,000
事業収益	0	800,000
共同募金会収益	150,000	150,000
善意銀行収益	40,000	40,000
補助金収益	3,724,000	1,300,000
雑収益	504,200	320,000
サービス活動収益計	11,958,796	7,590,000
費用		
人件費	2,833,255	2,700,000
事業費	2,010,031	2,000,000
事務費	4,303,495	2,825,000
減価償却費	1,629,279	1,684,707
設備整備等特別積立金取崩額	△ 1,030,074	△ 1,228,167
サービス活動費用計	9,745,986	7,981,540
サービス活動増減差額	2,212,810	△ 391,540
サービス活動外増減の部		
収益 受取利息配当金収益	5,299	4,500
費用 支払利息	0	0
サービス活動外増減差額	5,299	4,500
経常増減差額	2,218,109	△ 387,040
特別増減の部		
収益 設備整備等補助金収益	2,712,800	0
費用 設備整備等特別積立金積立額	2,712,800	0
固定資産処分損	1	0
特別増減差額	△ 1	0
当期活動増減差額	2,218,108	△ 387,040
繰越活動増減差額の部		
前期繰越活動増減差額	15,832,277	18,050,358
当期末繰越活動増減差額	18,050,358	17,663,318
基本金取崩額	0	0
次期繰越活動増減差額	18,050,358	17,663,318

表3 貸借対照表

平成29年3月31日現在

(単位:円)

資産の部	当年度末	前年度末	増減
流動資産	18,292,780	13,948,320	4,344,460
現金・預金	15,420,370	13,772,110	1,648,260
貯蔵品	0	0	0
有価証券	0	0	0
立替金	0	49,460	△ 49,460
前払費用	40,950	35,100	5,850
仮払金	107,460	91,650	15,810
未収補助金	2,724,000	0	2,724,000
固定資産	36,380,301	34,639,585	1,740,716
基本財産	23,136,000	23,532,000	△ 396,000
土地	7,000,000	7,000,000	0
建物	15,136,000	15,532,000	△ 396,000
基本財産特定預金	1,000,000	1,000,000	0
その他の固定資産	13,244,301	11,107,585	2,136,716
器具備品	3,840,301	2,051,810	1,788,491
ソフトウェア	0	47,775	△ 47,775
敷金	40,000	40,000	0
建物減価償却引当特定預金	6,864,000	6,468,000	396,000
減価償却引当特定預金	2,500,000	2,500,000	0
資産の部合計	54,673,081	48,587,905	6,085,176

負債の部	当年度末	前年度末	増減
流動負債	3,118,741	934,399	2,184,342
預り金	2,522,529	24,216	2,498,313
前受受講料	99,000	90,000	9,000
未払金	497,212	820,183	△ 322,971
固定負債	0	0	0
負債の部合計	3,118,741	934,399	2,184,342
純資産の部			
基本金	30,000,000	30,000,000	0
設備整備等特別積立金	3,503,955	1,821,229	1,682,726
次期繰越活動増減差額	18,050,385	15,832,277	2,218,108
(うち当期活動増減差額)	(2,218,108)	(△ 45,520)	(2,279,448)
純資産の部合計	51,554,340	47,653,506	3,900,834
負債及び純資産の部合計	54,673,081	48,587,905	6,085,176

《脚注》減価償却費の累計額 10,941,095円

社会福祉法人 熊本いのちの電話

平成29年度(2017年度)事業計画

事業方針

1. 電話相談員体制の維持、向上

- (1) 養成講座募集活動の強化
- (2) 24時間相談体制の確立
- (3) 電話相談員の研修の充実
- (4) 電話相談員減少の防止

2. 財政基盤の強化 (1) 資金サポートの拡大 (2) チャリティ事業等資金確保

3. 広報活動の展開 (1) マスメディア・自治体への積極的な広報活動 (2) 内部・外部向け広報の充実

4. 新社会福祉法への適切な対応

1. 電話相談活動

- (1) 熊本いのちの電話
365日24時間 2人受信体制
- (2) フリーダイヤル自殺予防いのちの電話
毎月10日 午前8時～24時間
- (3) 熊本地震いのちの電話(フリーダイヤル)

2. 研修活動

- (1) 第34期 電話相談員養成 基礎講座
場所 熊本YMCA中央センター
①開講式 平成29年5月9日
②前期(公開講座) 5月9日～9月12日 18回
③後期(養成講座) 10月3日～3月27日 24回
④修了式 平成30年3月27日
- (2) 第33期生研修(スーパービジョン)
期間 平成29年4月～平成30年3月
人数 16名(男性2名・女性14名)
- (3) 継続研修
全相談員対象 7研修班構成、月1回実施
- (4) 全体研修
①平成29年6月18日
熊本県総合福祉センター 講師 研修委員
②平成29年11月下旬
熊本県婦人会館 講師 未定
- (5) 自殺予防シンポジウム
平成29年9月24日 筑波国際センター

3. 公開事業・啓発活動

- (1) チャリティ公演
平成29年8月13日(日) 熊本市国際交流センター
監修/中村花誠 出演/ザ・わらべ他
- (2) 自殺予防いのちの電話公開講演会
平成30年2月4日
講師 未定
- (3) ボランティア週間バザー
平成29年11月開催予定 サンロード広場
- (4) 部外広報誌「熊本いのちの電話・通信」を発行
年間3回発行予定(4月、7月、1月)
- (5) 内部広報誌「りんりん」を発行
年間3回発行予定(5月、9月、1月)

4. 運営活動

- (1) 開局32年記念会&第32期電話相談員認定式
平成29年6月18日 熊本県総合福祉センター
- (2) 相談員の更新認定 平成30年3月
- (3) 第35期養成講座募集 平成30年3月～4月
- (4) 資金サポート 古本寄付、募金式自販機の拡大
黄色レシートキャンペーン

5. 各種会議

- (1) 理事・評議員会
平成29年5月30日 理事会平成28年度報告
平成29年6月12日 評議員会平成28年度報告
平成30年3月下旬 平成30年度計画
- (2) 日本いのちの電話連盟総会、全国事務局長会議
平成29年5月26日～27日 東京
- (3) 九州地区いのちの電話ブロック会議
平成29年12月2日～3日 大分



熊本のいのちの電話 感謝報告

ご支援をいただきありがとうございました。

1.平成28年度 ご寄付をお寄せくださった方々

(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(1) 法人・団体の部

(敬称略・順不同)

(株)NTF NTT西日本 (株)SYSKEN YMCAチャリティゴルフ会 (医)愛育会 福田病院 青山法律事務所 (株)朝倉製作所 歩み法律事務所 出田実業(株) 出田法律事務所 インマヌエル熊本キリスト教会 (株)うじま酒店 大分いのちの電話 大村法律事務所 岡山いのちの電話協会 沖縄いのちの電話相談員有志 オフィスムジカ おむすび太郎 財団法人 化学及血清療法研究所 鹿児島いのちの電話協会 (株)川崎ハウジング九州 関西いのちの電話 九州通信産業(株) 九州電機工業(株) 九州ネクスト(株) 京都いのちの電話相談員一同 熊本YMCA 熊本YWCA 熊本医療ガス(株) 熊本学園大学 熊本企業開発(株)	寺地 弘幸 熊本支店 上山 圭司 福元 秀典 福田 桐 青山 定聖 朝倉 吉治 松村 尚美 出田 敬太郎 出田 孝一 牛嶋 崇 大村 豊 西嶋 公一 高口 恵子 早川 堯夫 若林 和彦 成松 眞 福嶋 邦博 柿田 泰宣 岡 成也 白瀬貴美子 幸田 亮一	(社福)熊本県共同募金会 熊本県吟剣詩舞道総連盟 熊本市キリスト教連合婦人会 熊本白川教会 公益社団法人 熊本善意銀行 熊本第一信用金庫 豊住 賢一 熊本第一信用金庫 清水支店 熊本トヨタ自動車(株) (株)熊本日日新聞社伊豆 英一 熊本パレエ研究所 伴 征子 熊本保健科学大学 (株)熊本ホテルキャッスル 熊本ロータリークラブ 香覚寺 (株)高喜工業 (医)孔子会 (株)公明不動産 神戸いのちの電話 (株)コスギ不動産 (株)小竹組 (株)雇用促進事業会島田 俊郎 埼玉いのちの電話 埼玉いのちの電話相談員一同 (株)佐竹 三陽(株) (有)シーズユー 446会 (社福)泗水福祉会 泗水苑 (株)システムニッソ 荒木 泰臣 古庄 吟法 栗津 安和 豊住 賢一 與繩 義昭 伴 征子 齋藤 隆士 小山 一行 高口 裕之 豊田 大徳 平野 幸一 小杉 康之 大堂 正人 島田 俊郎 木下 修 上野 浩一 井上 英也 齋藤 禎子 門岡 慎治	(株)シスニック 古澤 和行 (有)シーズユー 静岡いのちの電話 (医)至福会 添島歯科医院 シャロンゴスペルチャーチ前橋 (医)寿量会 熊本機能病院 新産住拓(株) 誠光寺 西部電気工業(株) 全国通信用機器材工業協同組合 大一通信工業(株) 大栄産業(株) 大熊本証券(株) (有)大知 田中法律事務所 (株)竹内工務店 竹下清税理士事務所 千歳公認会計士事務所 (株)鶴屋百貨店 東京エレクトロン九州(株) 東京多摩いのちの電話後援活動の会 (株)トウヤ (株)トーツー創研 遠山歯科医院 徳島県自殺予防協会 長崎いのちの電話有志一同 中村孝彦税理士事務所 奈良いのちの電話協会有志一同 西田総合保険(有) 西日本電材(株) 米満弘一郎 小山 英文 島村 純孝 宮川 一巳 馬屋原孝憲 吉森 敬仁 羽山 出田 信行 田中 俊夫 竹内 義雄 竹下 清 千歳 睦男 久我 彰登 東家 恭一 大松 郁夫 遠山 啓介 中村 孝彦 西田 至 亀澤 知昭	日本基督教団 熊本草葉町教会 日本基督教団 錦ヶ丘教会 川島 直道 日本国際ギデオン協会 熊本支部 久保 誠治 日本福音ルーテル 室園教会 女性会 (株)八光電機製作所 野原 義壽 (株)肥後銀行 総合企画部 佛厳寺 (株)古荘本店 法光寺 (医)松橋愛育会 三重いのちの電話協会 (株)ミスターリースリー 小野塚 博 (株)みどり印刷社 鬼塚 雅洋 (株)みどりや 東 静一 三原労務管理事務所 宮川輝之法律事務所 (株)三宅保険総合企画 (有)都環境開発サービスセンター (有)宮崎保険事務所 明正電設(株) 森本法律事務所 森山法律事務所 やまさき歯科医院 ゆうかり調剤薬局 有斐総合法律事務所 井上 陽介 匿名1件
--	---	---	---	---

(2) 個人の部

(敬称略・順不同)

青木 孝子 新 圭子 安倍 公明 荒木 孝憲 荒木 伸夫 有馬 修二 有吉 利幸 伊久美寛志 池上 恭代 池田 菖子 石川エミ子 イタイケイスケ 市野 和恵 稲尾 貞臣 稲留 昌利 井上 新 井上 英也 猪本 耀子 今村眞佐子	岩崎三千恵 岩崎 進 岩邊 俊久 上田 昭八 植山 晶子 植田 富基 上原 仁朗 上村みどり 宇敷 辰男 悦 正治 及川 陽 大井 和美 大我 京子 小笠原嘉祐 岡田 洋一 緒方 憲男 岡本 洋子 鷺海 明 小田部久美子	小嶺 正子 甲斐 幸子 外所久美子 貝渕 俊二 笠原 正昭 加塩 弘己 片岡 隆治 門脇 愛子 金子 義勝 神谷 一恵 神谷 尚孝 河喜多一慶 河北 敏夫 川中 一正 菅 博明 木村 勝 清永サチ子 久保山嘉男 久保 理莖	桑原 浩行 鴻江友紀子 郡山 和代 小路島正臣 小澄 康彦 後藤 秀昭 後藤加奈子 雑賀 庸泰 齋伯 哲 櫻井 孝一 佐々木洋子 佐藤 文子 鮫島 和枝 澤村美智子 柴田 泰行 杉山百合子 鈴木 和代 田浦 記子 高木 容子	高杉ノリ子 高橋 英史 高良 朋子 立和田 斉 田中 信義 田中 征夫 堤 弘雄 寺岡 龍彦 寺岡 龍朗 富田 豊喜 西尾 彰夫 中澤 秀典 中野慎一郎 長船 信二 中村 静代 中村富貴子 ニイヤマタカン 西井くに子 西尾 彰夫	野中千恵子 野村 清人 挾間 規 羽江 忠彦 濱田 宏子 林田 達 林 信幸 葉山 武志 原 文章 原園 祐子 久野 啓介 日野 充裕 開 由美子 平野のり子 廣石 妙子 広瀬美貴子 福岡由美子 福田 秀雄 福山 清蔵	藤井 輝彰 藤本 伸哉 藤本 孝義 古荘 紀代 古荘 信次 別所 義夫 堀 浩善 本田 節子 前田 幸子 前田 慎吾 前田 充彦 前原八寿之 牧 勝美 牧 睦美 柳永 照幸 松田和香枝 松村二美代 松村 柳子 松本 春美	松本千鶴子 光永 尚生 宮崎健三郎 宮崎 房子 宮崎美緒子 宮本 進夫 村重 秀夫 村山 伸樹 持永瑞恵・摩子 元田 克秋 モリトモキ 森崎賀久子 森下 俊三 森村 陽子 山内 稔 山内 武 山内 一郎 山口 宏二 山村 唯夫	山本 了 横井 省吾 吉田 迪子 米倉 容子 笠 和美 和田 早苗 和田 全浩 渡辺 和文 渡辺 和代 渡辺 悟 渡辺 誠二 匿名 太郎 匿名38名
---	--	---	--	--	---	--	---	--

「通信」57号(前号)のこの欄に、匿名をご希望の方のお名前を誤って掲載しておりました。深くお詫び申し上げます。

2.平成29年4月1日～6月15日 ご寄付をお寄せくださった方々

(1)法人・団体の部

(敬称略・順不同)

(株)NTF 寺地 弘幸 YMCAチャリティゴルフ会 (株)朝倉製作所 朝倉 吉治 一新校区自治協議会 毛利 秀士 出田実業(株) 出田敬太郎 (株)うしじま酒店 牛嶋 崇 (株)エービーシー 榎 政彦 オフィス ムジカ 西嶋 公一 (株)菊池グランドホテル	熊本医療ガス(株) 白瀬貴美子 熊本企業開発(株) 香覚寺 小山 一行 さいが綜合法律事務所 雑賀 庸泰 (社福)泗水福祉会 泗水苑 齋藤 禎子 セベ産科用品(株) 坪田 隆二 竹下清税理士事務所 竹下 清	千歳公認会計士事務所 千歳 睦男 東亜シルク株式会社 長野 和男 (株)トウヤ 東家 恭一 日隈眼科医院 日隈陸太郎 不二高圧コンクリート(株) 岸川健太郎 佛巖寺 高千穂 哲也 圭子 (株)古荘本店 古荘 貴敏	(宗)法光寺 沖田 芳惇 (株)三宅保険綜合企画 三宅 聡 (有)宮崎保険事務所 森本法律事務所 森本 耕司 ゆうかり調剤薬局 高井 正照 匿名2件
--	--	---	---

(2)個人の部

(敬称略・順不同)

荒木 伸夫 有馬 修二 市野 和恵 稲尾 貞臣 井上 新 井上 陽介 猪本 耀子 今村眞佐子	岩崎三千恵 宇敷 辰男 悦 正治 大我 京子 及川 陽 緒方 憲男 奥田 順子 小野寺徳雄	小嶺 正子 小山 善文 加塩 弘己 金子 義勝 神谷 一恵 神谷 尚孝 小田部久美子 河北 敏夫	北里美知子 清野 健 久保山嘉男 郡山 和代 小路島正臣 小澄 康彦 齊藤 直子 坂村 哲子	櫻井 孝一 清水サチ子 田代 妙子 田中 征夫 田中 勇 遠山 啓介 中野慎一郎 中原 愛子	中村 頌子 西井くに子 野田 幸孝 葉山 武志 原 史章 原園 祐子 久野 啓介 平田 亮子	広瀬美貴子 福田 秀雄 船間 和子 堀 浩善 前原八寿之 牧 勝美 松本千鶴子 持永 瑞恵、摩子	元田 克秋 森崎賀久子 山内 一郎 山内 武 山村 唯夫 山本 了 和田 全浩	渡辺 和文 匿名 11 名
---	--	---	---	---	---	---	---	------------------

相談員として長く活動してくださった奥田森様ご遺族様よりご芳志を頂戴いたしました。

感謝申し上げますとともに、ご冥福を心よりお祈り申し上げます。

3.募金式自動販売機設置にご協力いただいている方々

(平成29年5月31日現在)

(敬称略・順不同)

(医)愛育会 福田病院 APパーク桜町 菊陽レディスクリニック 北熊本乗馬クラブ (株)九電工	九州電機工業(株) 九州ルーテル学院大学 (医)寿量会 熊本機能病院 熊本市水の科学館 (医)孔子会 孔子の里	光進建設(株) 金剛(株) (株)SYSKEN (株)建吉組 (医)寺尾会 寺尾病院	(医)聖孝会 中村整形外科 西日本電材(株) 松尾建設(株) ルーテル学院高等学校 和みほいくえん
---	---	--	---

4.古本寄付にご協力いただいた方々

(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

団体・個人

(敬称略・順不同)

青木 孝子 青木 知子 石川 泰弘 上口加代子 内田 妙子 内山 茂昭 大野美穂子 大村 豊	岡本 幸恵 小野澤友理 小野寺徳雄 小山 和代 小山 善文 川村 華織 桑野 誠 桑原 浩行	坂梨あやめ 坂本眞奈美 佐竹 信彦 (株)システムニシツウ 熊本支店 柴崎 憩治 須永 清 高橋 英史	立部 直子 (株)建吉組 陳 佳文 東朋高等専修学校 都甲 宏子 西 亮至 根本 善美 野島麻紀子	原 史章 東神電気(株) 東田 恵子 開 由美子 福井美智代 福岡由美子 藤田 侑子 満崎 知江	明正電設(株) 花田 龍美 森 正臣 屋代 智子 山添 邦子 熊本トヨタ自動車(株) 有吉 利幸
---	---	---	--	---	--

(平成29年4月1日～6月20日)

団体・個人

(敬称略・順不同)

熊本トヨタ自動車(株)	中村 公枝	中村 良子	林 信幸	森下 俊三	
-------------	-------	-------	------	-------	--

このほか、切手、お茶、コーヒー、お菓子等のご提供がありました。また、バザー用品のご提供もたくさんありました。心から感謝いたします。

肥後銀行、熊本銀行、熊本第一信用金庫のご厚意で、寄附金お振込みの際の振込手数料を免除いただいております。

これにより、ご寄付の全額が熊本のいのちの電話の活動を支える資金となります。

(専用の振込用紙をご利用いただくと、この免除の対象となります。)

各金融機関のご厚意に対しあらためて感謝申し上げます。

第32回開局記念会 及び 第32期電話相談員認定式

平成29年6月18日（日）熊本県総合福祉センターに於いて約90名の相談員が出席した中で「第32回開局記念会及び第32期電話相談員認定式」が執り行われた。参加者の大きな拍手に迎えられ、第32期の皆さんが入場、会場が一気に華やかになります。

福田理事長から、認定者のへのお祝いや表彰者への労りと共に「昨年の辛い体験・記憶をこれから先の私達の活動に生かしてこそ、復旧復興となるのでは」と相談員への思いをのべ、後藤研修委員長は「2年間の学びを終え、晴れ晴れとしたお顔に見えます。また、第33期の研修生の皆さん、応答の研修を重ね、来年は揃って認定を受けましょう。」と祝辞を述べた。認定者を代表して「養成講座後半のロールプレイ、阿蘇の一泊研修での実践に即した研修で心が重くなり、ついて行けないと心配したが、お互いに励まし合い絆が強くなりました。先輩を見習い、できることをできるだけ頑張っていきます。」と決意を述べた。

認定を祝う会

認定式会場入り口は「祝う気満々」の華やいた雰囲気になっています。手作りのリボンブローチ、ビーズで32と形どってあります。テーブルを飾る花々はまるでお花畑のようです。もてなし隊の「五木の子守歌」の替え歌やゲームに会場は笑いに包まれました。先輩相談員の大きな輪の中心を、新相談員13名が一人一人と握手をし祝福を受けました。

相談員総会

平成29年度電話相談員総会が開催され、相談員会長から平成28年度の活動報告が「年間活動実績」の一覧をもとに報告した。その後、新会長が承認され、会長より今年度の役員及び班代表者の紹介が行われた。そして「熊本いのちの電話の使命を念頭に置きながら努力している相談員を支え、相談員活動を持続できる心を育みたい。」と挨拶した。

平成29年度の活動計画を資料を基に説明をし承認をされた。

全体研修会

6月18日（日）の午後、研修委員会主催で「自殺念慮のあるかけ手への対応」をテーマに全体研修会が開催されました。相談員にとっては永遠の課題です。

用意された事例を74名の相談員が10グループに分かれ

- 1) 緊急性の判断（大量服薬）と対応
- 2) 過去の辛い体験、および、過去と同様の現在の生活状況の捉え方
- 3) 大量服薬に対する応答

以上の3つの課題を検討しました。相談員は、相談者の話を聴きながら、常に緊急性の判断を求められます。



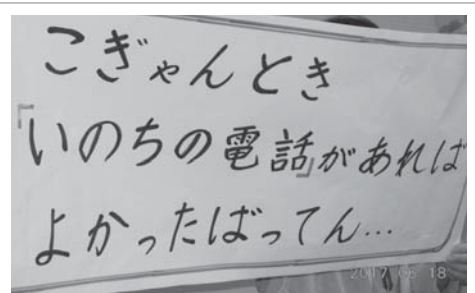
第32回開局記念会



第32期生認定式



第32期生認定式



認定を祝う会

緊急性がないと判断した場合、また、非常に危険と判断した時の対応は…、緊張がはしり不安に駆られます。

1) 緊急と判断した場合、確認・指示の必要性

- ①何をどれくらい服用したのか（通常の服薬の何倍か）
- ②意識や気分はどうか
状態によっては、薬を吐くように指示する
- ③周囲に危険物はないか（冬場なら、ストーブ）
- ④誰かに連絡しなくても良いか(状態によっては救急車の手配を促す)
- ⑤眠たければ横向きをとること（嘔吐したとき窒息を防ぐため）

2) 過去の辛い体験、および、過去と同様の現在の生活状況の捉え方

- ①過去の辛い体験と同様の現在の生活状況に対する労り、ねぎらいとともに、厳しい生活環境で生きてこられた強さを評価し理解を深める

3) 大量服薬に対する応答

大量服薬が良くないことはかけ手も理解している。大量服薬もリストカットなどと同じ自傷行為であることをかけ手に伝え、自分の体を労って欲しいとメッセージを伝える。

等が話し合われた。常に自分の電話対応の基本として、「緊急性の判断」を心に納めておくことが、不安に駆られながらも、腹を据えて対応できることだと学びました。

一年間の学習を経て、実際に電話の前に座ると緊張でどきどきした。終わる度に次の電話がかかってきて、相談が多いのにも驚いた。気持ちの重たい相談もあるが、先輩や事務局の方が私の話を聴いてくださるので心の荷物を軽くして帰ることができて感謝であった。また、月一回同期生と会って悩みを共有できたことも大きな安心感であった。そして、実際の電話を聴くことで研修委員のアドバイスに気づきが深まった。“特に最初の5分間が大切、この人なら話せると信頼関係を築くこと”、このことをいつも意識した対応に努めている。改めて理論と実践は車の両輪のようだと思う。なかなか思うようにいかないが意識していれば少しずつはステップアップできると信じている。これから基本を忘れず、事例や学習会で学んだことを実践していこうと思う。誰もが悩みや人生の困難を抱えて生きていることを実感した。自分も頑張らなければと思った。これから相談員として、一人の歯車として聴く力をつけていきたい。

A氏（32期生）

認定者の声

実習生として一年間、延べ100件ほどの電話を受けました。電話内容では予測しない展開に驚き、戸惑うことばかりでした。今でも受け手としての役目を少しも果たせないまま終了する日々です。性の電話には嫌悪感を味わい、ある時は、怒鳴られて、心を乱されることも多々ありました。そんな実務の中、先輩の方々との出会いや同期生との交流は私の支えとなり、活動への勇気をいただきました。この相談員活動は、人としての私を成長させてくれる活動だと感じています。自分自身の感情と向き合い、掛け手との価値観の違いを認め、受け容れる。このような訓練を積み重ね、感情ボランティアを続けることは、これからの私の人生を豊かにしてくれるものと思っています。熊本いのちの電話の使命を果たすため、微力ではありますが、頑張りたいと思います。

B氏（32期生）

養成講座 事前説明会

～いのちの電話ってどんなの～

平成29年度の電話相談員養成講座の開講に先立ち、3月10、11、12日の3日間、事前説明会を熊本市民会館2階会議室で開催しました。

昨年の反省点を生かし、更に入念な準備をし、いのちの電話活動の映像も資料も分かり易く、“一緒に活動を”の願いを込めて実施しました。

「“いのち”と聴くと重たい感じがして……。 “死にたい”と訴える電話だけですか……。 など印象から受ける不安を質問されました。日頃の小さな悩みが引き起こす不安や悲しみ、怒りなどを話すことによって安心して頂く、その聴き方を訓練します。」と説明をしました。

3日間で28名の参加があり、そのうち7名の方が受講されました。

第34期生 電話相談員 養成講座スタート!!

第34期電話相談員養成講座の開講式が去る5月9日（火）熊本YMCAにおいて、福田理事長はじめ各役員臨席のもと開催されました。26名の受講生を迎え福田理事長は「ここ数年、自殺者数が減少しているが、これには「いのちの電話」の活動が寄与しているのではないかと考えている。静かにひたすら聴き続け、人知れず行うボランティアですが、これからの「いのちの電話」の担い手として、期待しています。」と挨拶しました。その後“いのちの電話の歴史と現状”と題し講義が始まり、いのちの電話の成り立ちや役目、相談員としての心得などが話されました。



受講者の声



A氏（34期生）

養成講座を受講して、私は改めて“他者とのつながり”の重要性に気づくことができた。それは単に、その場限りの表面的なものではない。真剣勝負の濃い“つながり”である。まだ実践練習には至っていないが、それでも受講生同士の交流を通して、相手を尊重し、気持ちに思いを馳せようと互いに努めることで生まれる一体感や安心感にいつも救われる思いである。まだまだ発展途上の私だが、ここでの学びを還元できるよう残りの期間も頑張ろうと思う。

B氏（34期生）

この度、熊本のちの電話・相談員養成講座に受講させていただくことになりました。私が受講した理由は、知人からの紹介によるものでした。正直、私のような者が受講してよいのかという迷いもありましたが、私なりの人生の歩みを元に、学びをはじめればと思い、受講を決めました。講義は体験活動あり、講師の方の貴重な経験の話ありと充実した内容を学習させていただいています。まずは、自分のために学び、そして多くの方に少しでも返していければと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

C氏（34期生）

今回受講のきっかけになったのは、私自身が電話相談を利用する側の立場から見てきたことを活かして、お役に立てればという動機からです。日は浅いのですが、グループワークを通して相談員としての自分の弱点や不得意なことについての気づきもあり、日々是修行の毎日です。会社勤めの傍ら受講のため、32kmの道程を自転車で通うのですが、全然辛くありません。まだ自身の課題は残りますが、縁あつての24人の受講生と共にこれからも学んでいきたいです。

イオン 幸せの黄色いレシートキャンペーン

2016年下期 贈呈式 に出席

2017年4月23日、イオン熊本中央店で行われた贈呈式で、2016年下期（2016年9月～2017年2月）に熊本のちの電話に寄せられた「黄色いレシート」総額480,000円の1%に相当するイオンギフトカードの贈呈を受けました。

イオンとマックスバリュの各店舗で毎月11日に行われるこのキャンペーンでは、買い物をした際に受取る黄色いレシートを支援したいという団体の名前が書かれたボックスに投函していただくと、その総額の1%相当がギフトカードとして団体に贈られます。

イオン熊本中央店、そして「熊本のちの電話」のボックスにご投函くださった皆様に深く感謝申し上げます。

（今年も引き続きイオン熊本中央店とマックスバリュ田崎店でのキャンペーンに参加させていただいております。）



社会福祉法人 熊本いのちの電話 平成29年度 役員名簿

2017年6月(平成29年度)

役 職	氏 名	勤務先・職業	役 職	氏 名	勤務先・職業
理事長	福田 稠	医療法人社団愛育会 福田病院 理事長	評議員	悦 正治	熊本第一信用金庫 相談役
理事	赤星 敦	株式会社SYSKEN 顧問	評議員	大橋 善治	(名)大橋時計店 代表社員
理事	後藤 秀昭	九州看護福祉大学社会福祉学科 准教授	評議員	岡 成也	熊本YMCA 総主事
理事	池田 幸藏	池田事務所 所長	評議員	小笠原嘉祐	特定医療法人社団ビネル会 ビネル記念病院 理事長
理事	堤 弘雄	一般社団法人夢ネットはちどり 代表理事 / 法務省 人権擁護委員	評議員	平島 有希	アステル法律事務所 弁護士
理事	榊 政彦	(株)エービーシー 社長	評議員	元田 克秋	(一社)全国労働保険事務組合連合会 熊本支部会長
理事	藤谷 裕子	ピアノ教師	評議員	吉村圭四郎	瑞鷹(株) 代表取締役副社長
監事	大村 豊	大村豊法律事務所 所長 弁護士	評議員選任解任委員	西嶋 公一	オフィス・ムジカ 代表
監事	中村 孝彦	中村孝彦税理士事務所 税理士	評議員選任解任委員	日野 充裕	木山仮設団地 地域支え合いセンター 所長
評議員	出田 信行	大熊本証券 代表取締役社長	評議員選任解任委員	大村 豊	大村豊法律事務所 所長 弁護士
評議員	井原 宏	熊本トヨタ自動車(株) 専務取締役	評議員選任解任委員	池田 昌子	熊本いのちの電話 事務局職員
評議員	浦川 務	カトリック健軍教会 神父			

電話相談 ボランティアの お誘い

あなたの「声」を「熊本いのちの電話」のボランティアに生かしてみませんか。顔の見えない相談者の苦しみ、悲しみに、あなたの手のぬくもりを「声」に添えて届ける仲間になりませんか。詳しくは事務局にお問い合わせ下さい。

いのちの電話に皆さまのご支援をおねがいいたします

(個人サポート会員・法人サポート会員・随時支援金という形で、どなたでもいつでもご支援いただけます。)

※「社会福祉法人 熊本いのちの電話」への寄付には、税法上の寄付金控除が受けられます。

個人サポート会員：年間 2,000円 3,000円 5,000円

法人サポート会員：年額 1万円 3万円 5万円

随 時 支 援 金：時期・金額は随意です。

振込先

口座名 / 社会福祉法人 熊本いのちの電話

郵便振替 01910-8-11836

銀行振込 肥後銀行 水道町支店 (普)1271746

熊本銀行 下通支店 (普)2122553

熊本第一信用金庫 本店 (普)1202685

編集 後記

「天災は突如襲ってきて大きな惨禍を残すが短時間の後には過ぎ去っていき、その後はまた何ごともしなかったかのようにのどかな日々が戻ってくる。(中略) 気まぐれな自然災害の危険に絶えずさらされる中で、日本人は運命を甘受する受動性や、過ぎたことは水に流して忘れるあきらめの良さを身につけるとともに、一夜明ければ再び前向きに進む楽天的な勤勉さを培ってきた」(放送大学教育振興会・石丸昌彦著・死生学入門。42頁)。地元紙では2020年には新国道57号線が新設される一方で農業被害の復旧工事途中の記事がある。熊本地震のフリーダイヤルの内容にも変化が出てきて、震災被害の根深さに心も痛む。こころも生活も平常に一日も戻れるよう祈るばかりだ。

事務局日誌

平成29年 4月～7月

29年 4月	23日	イオン「幸せの黄色いレシート」贈呈式
5月	9日	第34期電話相談員養成講座開講式
	26日	日本いのちの電話連盟総会
	30日	理事会
6月	12日	理事会・評議員会
	18日	開局32周年記念会・相談員認定式 全体研修会

毎月10日 フリーダイヤル(08:00～11日08:00まで)



社会福祉法人 熊本いのちの電話
事務局

〒860-8691 熊本中央郵便局私書箱155号
TEL096-354-4343

発行人: 福田 稠 編集: 広報委員会

熊本いのちの電話

検索



赤い羽根共同募金配分金により作成したものです。